

# 鳴門市地域福祉計画等策定市民会議 結団式が開催されました

どんな境遇にあっても、またどんな状況になっても社会から孤立することなく、地域で支えあい、助けあえるしくみを創っていくために設置された「地域福祉計画等策定市民会議」の結団式が開催されました。



1. 日 時 平成 28 年 12 月 10 日（土）13：30～15：30
2. 会 場 うずしお会館 2 階 第 1 会議室
3. 参加者 地域住民、関係機関職員、市職員、徳島大学生、市社協職員で構成する市民会議委員 93 名 ほか

## 報 告

この度、鳴門市の主催により、地域づくりを推進し、住民主体意識の醸成を図ることを目標として、鳴門市地域福祉計画等策定市民会議 結団式が開催されました。

泉鳴門市長から、「市民会議には一丸となっただき、市民が幸せな暮らしをおくることができるように地域福祉計画及び地域福祉活動計画づくりを行って欲しい」とのご挨拶がありました。



その後、計画策定に関してご指導いただき、徳島大学大学院医歯薬学研究部教授の白山靖彦先生に「地域づくり、をつくる in Naruto」というテーマでご講演をいただきました。

講演では、市民会議委員の数は市民全体の 0.16%だが、「鳴門に生まれ、育ち、生き、働き、ほんとに良かった」といえる街づくりのために、計画づくりを協働していけることが何よりも嬉しく思っているということ、「計画づくりは地域づくり」と言われるように、まさに「地域づくり、をつくる」ことが大切だということ、また“みんな「**で**」”ではなく、“みんな「**が**」”それぞれ知恵を出し考え、市民一人ひとりのことを大切にするという理念を共有することが最重要で、その理念は「Re-CREATE（リ・クリエイト／再び創造する）」であること、理念には、

2025年や2040年には超高齢化、人口減少、市町村数の激減などの大きな問題が控えているが、それをも乗り越えていける鳴門を再び創造していこうという願いが込められていることなどについてお話しいただきました。

続いて、同大学院講師の柳沢志津子先生より「市民会議の進め方」について説明をしていただきました。

住民の皆さんの声を引き出し、計画に盛り込むことが市民会議の役割であること、その中での市民委員・市や市社協職員・学生の役割などをお話しいただき、今後はそれぞれの役割に応じた研修を受け、地域座談会等を開催していくという実施計画が示されました。『「鳴門の今を知り、これからを考え、人々とつながり」鳴門のために行動を起こし、鳴門のまちづくりを推進しましょう。』と力強いお声掛けをいただきました。

最後に全員で集合写真を撮り、散会となりました。



## 参加者の感想

- 白山先生の講演内の、『みんな「で」ではなく、みんな「が』』という言葉に感銘を受けた。
- 一人ではなく、地域の人と一緒に考えていくことで、少しでも地域が良くなればと思う。
- これから座談会などがあり大変だが、その分やりがいもあると思う。
- 参加している人は、地域を良くしようという意識の方だと思うので、自分も共に頑張ろうと気持ちを新たにしました。
- 計画策定に向けて不安もあるが、頑張っ完走を目指そうと思う。
- 地域を良くする仕組みづくりをつくり上げるためには、「市民全員が頑張る」必要があると思う。市民（個）の力を受け止める市民会議委員としての役割は重要だ。